



2017. 12. 1

12月ようちえんだより

西神戸YMCA 幼稚園

幼稚園のロビーはクリスマス・ツリーやクリスマス・クリブが飾られ、イエス様のお誕生をお祝いする準備が進められています。巷では、この時期はクリスマスの意味を理解しているのか否か分かりませんが、日本中のいたるところがクリスマス一色の雰囲気となっています。そのような中、子どもたちはクリスマスをどのように理解して迎えようとしているのでしょうか。幼稚園では12月中旬にクリスマス礼拝を行います。それに向けて、クリスマスを迎える4週間前からアドヴェント（待降節・降臨節）に入り、クリスマスを迎える心の準備を行っていきます。礼拝ごとに4本のアドヴェントクランツに1本ずつローソクの灯をともしていきます。先週は1本目のローソクに灯がともりました。今週は2本目の灯がともり、4本の灯がともった時がクリスマスです。このように子どもたちはクリスマスを心待ちにして迎えています。

クリスマスは決して自分の喜びだけのために訪れるものではありません。自分自身が、神様と多くの人に愛されていることに気づく時であり、プレゼントは受け取る喜びで満足するのではなく、他者に贈る喜び、他者に役立つ喜びを感じる時となることも知ってほしいと願います。

子どもたちが、他者への思いやりと、分かち合う喜びを持ち続けて成長することを祈り、感謝と喜びをもって共にクリスマスを迎えたいと思います。

神よ わたしをあなたの平和のために用いてください
憎しみあるところに愛を 争いのあるところに和解を
分裂のあるところに一致を 疑いのあるところに真実を
絶望のあるところに希望を 暗闇のあるところに光を
もたらすことができますように助け導いてください

神よ わたしに
慰められることよりも慰めることを 理解されることよりも理解することを
愛されることよりも 愛することを望ませてください
わたしたちは 与えることによって与えられ すすんでゆるすことによってゆるされ
人のために死ぬことによって 永遠に生きることができるからです
＜アッシジの聖フランシスコ 平和を求める祈り 日本カトリック司教協議会訳＞

年主題 『愛されて育つ』

＜年主題聖句＞「あなたがたは神に愛されている子供です。」
(エフェソの信徒への手紙5章1節)

1月主題 「喜び合う」

聖句 “いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適うひとにあれ”
(ルカによる福音書2章14節)